

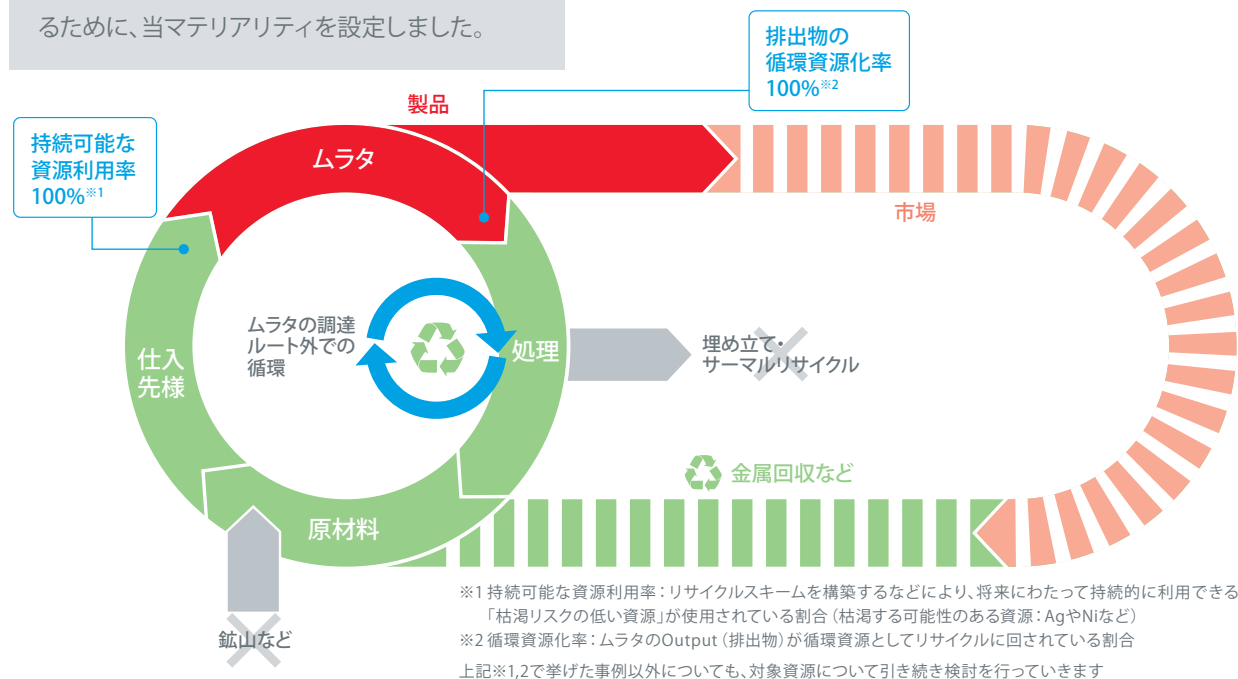
持続可能な資源利用

マテリアリティ設定の背景

世界的な人口増加にともない、資源の枯渇、廃棄物量の増加といった社会問題が深刻化しています。ムラタは資源の持続可能な利用を自社の事業活動において実現することでこれらの社会課題の解決に取り組み、文化の発展に貢献するために、当マテリアリティを設定しました。

目指す姿

資源の持続可能な利用をムラタの事業活動において実現するとともに、協力者との共創により文化の発展に貢献します。



※1 持続可能な資源利用率：リサイクルスキームを構築するなどにより、将来にわたって持続的に利用できる「枯渇リスクの低い資源」が使用されている割合（枯渇する可能性のある資源：AgやNiなど）
※2 循環資源化率：ムラタのOutput（排出物）が循環資源としてリサイクルに回されている割合
上記※1,2で挙げた事例以外にも、対象資源について引き続き検討を行っていきます

ムラタは、「持続可能な資源利用」を推進するにあたり、2050年度に向けて、調達物については「持続可能な資源利用率」、排出物については「循環資源化率」という以下の目標を設定し、取り組みを推進しています。

2024年度目標	・ 持続可能な資源利用率：2021年度実績から1%改善※3 ・ 循環資源化率：2021年度実績から5%改善※3
2030年度目標	・ 持続可能な資源利用率：25% ・ 循環資源化率：50%
2050年度目標	・ 持続可能な資源利用率：100% ・ 循環資源化率：100%

※3 2021年度実績値については、現在集計中

持続可能な資源利用率

枯渇リスクの低い資源を利用することや、お客様が使用を禁止あるいは抑制する資源の使用を避け、リサイクル資源を利用することなど将来にわたって持続的に資源を利用できるように事業活動を行います。

循環資源化率

ムラタはこれまでゼロエミッションを掲げ、埋め立てをしないことを重視し、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクル（熱回収）などの施策に取り組んできました。今後は、さらに資源の枯渇や廃棄物の増加といった問題にも対処していきます。

TOPICS 循環資源利用の取り組み

ムラタでは、積層セラミックコンデンサ（MLCC）の製造工程で使用するPETフィルムの水平リサイクルシステムの構築を電子部品業界で初めて成功しました。※4

本システムでは、協力会社と協働し、誘電体シート形成工程で使用するPETフィルムを再び同用途のPETフィルムとして活用する水平リサイクルを実現し、2022年5月より順次導入を開始しています。

現時点ではPETフィルムに含有するリサイクル材の比率は約25%ですが、さらなる改善に取り組み、100%リサイクル材を活用したPETフィルムのスキーム構築を実現し、廃棄物やCO₂の削減に貢献していきます。

※4 従来、MLCC用の使用済みPETフィルムは、サーマルリサイクルやカスケードリサイクル（品位低下をとまなうリサイクル）を行っていましたが、MLCCのシート形成に使用されるPETフィルムから同目的で使用するPETフィルムへの水平リサイクルは電子部品業界初の試みとなります。（2022年5月時点、当社調べ）

取り組みの詳細はこちらをご覧ください。
<https://corporate.murata.com/ja-jp/newsroom/news/company/csrtopic/2022/0616>

持続可能な資源利用の活動内容（水資源管理を含む）の詳細はこちらをご覧ください。
https://corporate.murata.com/ja-jp/csr/environment_murata/resource